



30周年記念式典で祝辞を述べる村長
文化祭で披露した「むらびと踊る社中」の皆さん
里帰りした「曙獅子舞」と「ちょうさ」

財田町との姉妹町村盟約三十周年を記念して、十月七日に行なわれた鉾八幡宮秋期例大祭に、曙獅子舞とちょうさ（太鼓台）が「里帰りふるさと奉納」のため財田町を訪問しました。

当日は、町内各地区の十一の獅子舞と四基のちょうさに加え、村から参加した曙獅子舞とちょうさが、境内に勢揃いし、賑やかなお祭が繰りひろげられました。

今回訪問した一行三十二人は、財田町の人たちから多大な応援を頂き、無事奉納を果たすことができました。

また、二十二日には文化祭二十三日には三十周年記念式典が行われ、村長はじめ村議会議員、写真集団洞爺、むらびと踊る社中、宮武社中ら一行三十一人が訪問しました。

文化祭での、写真の展示、よさこいソーランの披露、翌日の記念式典などに出席し、文化交流、また、友好の絆を深めました。

洞爺村国際彫刻ビエンナーレ2005展覧会開幕

来場者4,000人を超える

笹野審査委員長が彫刻の見方を解説

村民有志で組織されている洞爺村国際彫刻ビエンナーレ企画五十人委員会では、十月四日、新たな試みとして広く村民の参加を呼びかけ、彫刻の鑑賞方法や楽しみ方について、審査委員長の笹野尚明氏を招いて学びました。

当日午後六時三十分より総



彫刻をピックアップして説明する笹野審査委員長

合センターの展覧会場に、村民の皆さん約三十名が集合、実際に彫刻を見ながら、作品についての質問をしたり笹野委員長から「何を表現したいか、それをどのように組み立てているか、その技術はあるかという三点を重視している」と審査のポイントや専門的な見方を教わり、より一層彫刻への関心を高める機会となりました。

三千人目の入場者に村特産品など贈呈

第七回目となった洞爺村国際彫刻ビエンナーレ2005（同実施委員会・洞爺村主催）は、九月二十三日から十月二十三日まで、総合センターを会場に開かれ、多くの村民や愛好者の皆さんが訪れました。なお、十月十六日、札幌の学生、秩父健志（一九）さんが、三千人目の来場者となり、実施委員長の菊地村長から、



3,000人目の入場者となった秩父さんに記念品が贈られる

村特産のビエンナーレ（シンジューズ）、図録などの記念品が贈られました。

秩父さんは、「友人に誘われて作品を見に来た。僕には難しかったが記念品をもらいうツキーと思う。」と喜んでいました。また、記念品として贈られたいこいの家回数券で、友人といっしょに洞爺村の温泉をさっそく楽しんでいかれました。

入場者4千人突破しビエンナーレ閉幕

最終日となった十月二十三日、会期中の入場者が、これまでのビエンナーレ展覧会で初めて四千人を突破し、四千七十七人となりました。

記念の四千人目となった虻田町の主婦・奥山洋子さんに杉上助役からじゃがいも、ビエンナーレ（シンジューズ）など洞爺村の特産品が贈られました。

奥山さんは、「毎回多くの国のいろいろな作品を見るのを



4,000人目の入場者となった奥山さんに記念品が贈られる

新たな創意工夫で 過去最高の入場者

今回のビエンナーレ2005では、運営の手足となる企

業しみにしている。伊達信用金庫で紹介展を開催する時にも見に行っている。どの作品もすばらしいと思う。以前にアンケートに答えて産品を贈っていたこともあった。午前中に来ようと思ったが午後に来てよかった」と笑顔で話していました。

画五十人委員に、実施委員会委員、並びに実施委員会の構成団体が推薦する委員が加わり、その企画五十人委員会においても、普及部会を設けて頻繁にビエンナーレ通信を発行するなど、多くの皆さんが参加し、ビエンナーレを盛り上げようとする取り組みが行われました。

また、審査会の村民公開や大賞作家のキフ・パネットさんを囲む座談会、審査委員長の笹野尚明氏を招いて彫刻の世界を学ぶ催しなどを初めて行い、村民の皆さんの関心・興味を高めたと思います。

このような創意工夫や後援いただきました関係機関、関係者のご努力により、過去最高の入場者を達成したことは、今後のビエンナーレ開催に対する期待がさらに高まったと思います。応援いただいた皆さんありがとうございました。

活動の成果を発表

洞爺中学校学校祭



素晴らしい演奏を披露する吹奏楽部発表

十月二日、洞爺中学校では「初志貫徹」をテーマに洞爺村としては最後の学校祭が行われました。

生徒たちは書道、絵画等の作品や壁新聞、部活動紹介などの展示発表のほか、ステージ発表、食堂バザー、チャリティーバザー、縁日屋台など、生徒会を中心として夏休み前から準備してきた洞爺中学校の活動や文化を、保護者や地域住民の皆さんに発表しました。

ステージでは、楽しい演劇、すばらしい吹奏楽部発表や合唱コンクール、「おにぎり朝食い」などの生徒会イベント、コントなどが行われ、生徒たちの努力を重ねた成果に、見ていた保護者や生徒、地域住民の皆さんから、温かい拍手や歓声、笑い声がわき起こっていました。



確かな演技で笑いを誘った演劇発表

議会の動き

第五回洞爺村議会臨時会

総合センター改修など補正予算を 原案どおり可決

第五回洞爺村議会臨時会が、十月十八日に開かれました。会期を一日と決めた後、総合センター改修工事、合併推進費負担金等による一般会計補正予算の議案一件が原案どおり可決承認されました。

補正予算

▽平成十七年度洞爺村一般会計補正予算

歳入歳出予算それぞれ36,637千円を追加し、歳入歳出予算の総額を2,622,255千円とする。

(総合センター改修工事、合併推進費負担金、成香自治会活動振興用サイレン整備補助事業、姉妹町村盟約締結三十周年記念誌作成負担金、洞爺村映像記録DVD購入事業に伴うものです。)



議案について説明する杉上助役

胆振西部六市町村 合併に調印 消防広域再編協議調印式

十月三日、伊達市消防・防災センターにおいて、胆振西部五町村で構成する西胆振消防組合と伊達市消防の消防広域再編協議の調印式が行われました。

式では、六市町村の首長が広域再編の協議書に調印し、西胆振消防組合構成町村代表の虻田町長と伊達市長が、それぞれあいさつを行い「有珠



六市町村の首長が協議書に調印

山噴火、大規模災害に対応し、地域住民の安全・安心の街づくりに期待したい。また、高齢化が進む社会にも対応が必要である」と合併に対する決意を語りました。

また、合併は、伊達市が西胆振消防組合に加入する方法で、来年二月一日に発足します。

「契約合併調印式」

虻田町・洞爺村
社会福祉協議会

十月二十五日、虻田町健康



合併契約書に調印する伊藤会長と原会長

福祉センターさわやかにおいて虻田町・洞爺村社会福祉協議会契約合併調印式が行われました。

両町村福祉協議会会長が合併契約書に調印、各関係者の署名が行われ、虻田町・伊藤博会長が「福祉を益々強化し、後退させることなく増進して行きたい」、洞爺村・原昌明会長は、「ともに協力し合い、福祉内容を充実して行きたい」とそれぞれあいさつを行い、これから合併へ向けての抱負を語りました。



関係者一同が固い握手を交わす



こんな事業に 取り組んでいます

商工観光課

洞爺水の駅周辺地区まちづくり交付金事業 (魅力あふれる体験交流型観光地づくり)

洞爺村では、「農村文化村」として、自然資源や文化資源を最大限活用した都市住民との魅力あふれる体験交流型観光地を目指しており、日常生活の中に自然に取り込まれる村ぐるみ観光が求められていることから、湖や温泉等の自然資源及び村が所有する文化資源などを有効活用した魅力ある市街地環境と交流施設の整備に取り組むことにしております。

これらの目標を実現するために、昨年12月より国（国土交通省）が制度化したまちづくり交付金事業の基本計画（都市再生整備計画）の策定事務を進め、現在、事業の採択を受けるため北海道や国などの関係機関と最終調整を行っております。

事業の内容

- ①自然資源（湖・温泉）を活用するための交流施設の整備
湖ふれあい交流施設の整備（カヌー工房、艇庫の整備）
いこいの家浴場機能強化の整備（露天風呂や各種浴槽、サウナ等整備）
- ②道路及び公園、歩道照明施設の整備
新設村道の整備、商店街歩道照明施設の整備、屋台交流広場等の整備
- ③既存建造物（公共施設）を活用した施設の整備
芸術文化交流施設の整備（彫刻ビエンナーレ作品等の展示施設の整備）

まちづくり交付金事業は、地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かし地域主導の個性あふれるまちづくりを実施し、地域の再生を効率的に推進することにより、住民の生活の質の向上と地域経済の活性化を図ることを目的とした制度であり、洞爺村ではこの制度を活用し、平成18年から5ヵ年計画で事業を進める予定であります。尚、来年には虻田町と合併いたしますが、将来の地域づくりに重要な施策であるため、新町において継続事業として進められることになります。

洞爺水の駅周辺地区



平成十七年度洞爺村・財田町姉妹町村少年交流事業 第十二回「ふるさと・ふれあい・フレンドリーツアー」を終えて

団長 成香小学校長 鳥井 隆

十月六日から三泊四日の日程で、第十二回ふるさと・ふれあい・フレンドリーツアー。団長として、村内小学校六年生十四名の少年大使と共に香川県財田町を訪問してまいりました。今年は、市町村合併

の関係で、例年より約二ヶ月も早い訪問となりました。財田町の計らいで、鉾八幡神社の祭典に合わせての日程でした。以下、今回の訪問の概要についてお知らせします。

次々と獅子舞が訪れ、舞を披露していました。午前中は、町の行政バスで琴平町に出かけ、金刀比羅宮参拝、金丸座見学。昼食後は、鉾八幡神社大祭の見学をしました。洞爺の、ちょうさ（祭り用の太鼓台）も里帰りしていました。気温が二十八度位まで上がり、見物しているだけで汗が吹き

出ました。重さ二トンもある「ちょうさ」を約百人もの担ぎ手が力を一つにして持ち上げる様子は、本当に見事なものでした。また、洞爺の「曙獅子舞」も財田町の皆さんに舞を披露していました。曙獅子舞に所属しているフレンドリーツアーの少年大使二名は、朝から獅子舞の方に参加しました。

に戻りました。夜になって、出発前から心配していた事が起こりました。私の民泊先である山崎（町議）さんから、洞爺の子どもが熱を出して診療所に行ったとの連絡が入ったのです。教育委員会の大西課長さんが車で迎えに来てくださり、早速、民泊家庭に駆けつけました。「今日はゆっくり休んで、明日は皆と一緒にみかん狩りができるといいね。」と声をかけ、明日の朝までに熱が下がることを祈り、民泊家庭を後にしました。三日目は、朝から雨模様。財田上

小学校に集合し、手打ちうどんづくりの体験学習をしました。前日、熱を出した子も元気に参加していました。町内有志の方（八名）に親切・丁寧に教えていただきました。ありがとうございました。

日も暮れた夕刻、予定より少し早く財田町中央公民館に到着しました。長旅のせいで子どもたちは少し疲れ気味でしたが、緊張して歓迎式場へ入場しました。近藤町長様はじめ民泊家庭の子どもたちや保護者のみなさん、関係者の方々が温かく迎えてくれました。子どもたちは、夏に会った財田町の子どもたちと握手をして少しにっこり。それぞれの家庭に別れていきました。

出発予定時刻を延ばしての祭典見学の後、香川用水記念公園、塔重山公園など町内公共施設の見学をし、民泊家庭

目には、朝から雨模様。財田上小学校に集合し、手打ちうどんづくりの体験学習をしました。前日、熱を出した子も元気に参加していました。町内有志の方（八名）に親切・丁寧に教えていただきました。ありがとうございました。

おいしい本場讃岐うどんを食べた後、恒例のみかん狩り（ちぎり）にかけました。長谷川農園でお世話になりました。幸運にも朝からの雨が上がり、予定通りみかん狩りが

十月六日、保護者や担任の先生ほか大勢の人に見送られ、十四名の六年生と三名の引率者（洞爺小の藤谷先生、教育委員会の黒澤さんと私）で洞爺村を出発しました。新千歳空港で昼食をとり、いよいよ岡山空港行きの便に搭乗。離陸時には、飛行機に乗るのが初めての子どもが歓声をあげていました。順調な飛行で無

事岡山空港に到着しました。空港では、財田町教育委員会の石井さんと岡崎さんが出迎えてくれました。財田町まで二時間余り、バスの中では石井さんが名ガイド振りをみせてくれました。

二日目は鉾八幡神社の大祭日でした。朝八時に中央公民館に集合すると、役場前には

おおい本場讃岐うどんを食べた後、恒例のみかん狩り（ちぎり）にかけました。長谷川農園でお世話になりました。幸運にも朝からの雨が上がり、予定通りみかん狩りが



里帰りした洞爺の“ちょうさ”



洞爺の“曙獅子舞”



手打ちうどんづくり

できました。ひとり十キログラムのみかんを千切るのは、結構疲れました。農家の方のご好意で柿やキュウイフルーツも摘むことができました。家庭へのたくさんのお土産ができました。

みかん狩りの後、与島へ向かいました。再び雨が降り出しました。咸臨丸に乗船する時には、またまた雨が上がり、瀬戸大橋を海から眺めることができました。船から降りた後、子どもたちが楽しみにしていたショッピングタイム。

子どもたちは、お土産選びに夢中になっていました。

午後五時過ぎに今日の宿泊先である「湯の谷荘」に到着し、近くの温泉「環の湯」で疲れを癒しました。

四日目。お別れ式には、民泊家庭の親子はじめ大勢の



みかん狩り

方々が見送りに来て下さいました。大西教育委員長様のお別れのご挨拶の中で、市町村合併後も、この少年交流事業が続くというお話があり、洞爺と財田の交流が次年度以降

も引き継がれることを確信し、バスに乗り込みました。

洞爺村開拓の先駆けとなった人々の故郷である香川県財田町。姉妹町村の関係を結んで三十周年の記念すべき年に訪問することができたことは、私にとっても光栄に思います。

帰村後の到着式では、お迎えの保護者の方々や桑原教育長はじめ教育委員会の皆様に、十四名の少年大使は立派にその役目を果たしてきたことを報告致しました。子どもたちが、この四日間で学んだことをこれからの自分の生き方に生かすことを期待しております。

最後になりますが、洞爺の少年大使たちを温かく受け入れて下さった財田町民泊先のご家庭の皆さん、本当にありがとうございました。そして、近藤町長様、大西教育委員長様はじめ財田町教育委員会の方皆さん、素晴らしい思い出をありがとうございました。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り致します。

テレビ電話で交流 フレンドリーツアーの 児童

十月二十三日、香川県財田町では、洞爺村との姉妹町村盟約三十周年記念式典や閉町式典、未来フェスタin香川などのイベントが行われ、その一環として、洞爺村とテレビ電話でつなぎ、両町村の小学六年生が交流しました。



テレビ電話で交流する村内の6年生



財田町の画面に映る村内児童の映像

このテレビ電話は、NTT西日本とNTT東日本の協力を得て、インターネット中継が実現したものです。

小学六年生の児童たちは、互いに訪問したフレンドリーツアーで交流しており、互いの近況を話し合い、「洞爺湖がくつきり見えます」「北海道は雪が降っていますか？」などと話して、なつかしい顔を確かめていました。

全道 秋の火災予防運動

火災ゼロを目指せ!!

防火意識を高める 防火パレード

十月十五日から三十一日までの十七日間、全道「秋の火災予防運動」が展開されました。

運動日前日の十四日、洞爺小学校グラウンドより、防火パレードが行われる予定でしたが、雨天のため体育



体育館での演奏となった鼓笛隊

館での開催となり、消防団員、婦人防火クラブ、洞爺小学校の少年防火クラブなどの皆さんが参加しました。式典では、宮武静夫・西胆振消防組合洞爺支署長より「今年は、雨のためパレードができなくて残念でした。皆さんも、火の用心を心がけ、絶対火遊びはしないようにしましょう」とあいさつがあり、その後、少年防火クラブの鼓笛隊による演奏が行われました。

これから、寒い季節となり暖房機器の使用とともに火災の原因が多くなります。火の取り扱いには十分注意しましょう。

村を火災から守ります 秋季消防演習

十月十四日、洞爺消防団支署による、秋の消防演習が行われました。

午後四時三十分、洞爺水の駅から出火した想定で訓練が行われ、火災発生を知らせるサイレンが鳴り響く中、次々と消防車が到着し放水を開始しました。



団員が協力し合い行われる放水訓練



救助活動を行う消防職員

また、建物二階に取り残された人がいるとの想定で、救助活動も行われ、実践しながらの訓練に、職員、団員ともに迅速で、見事に連携された消火、救助活動を行いました。

香川獅子舞が洞爺村 無形文化財に指定

平成十七年九月三十日付けで、香川地区に伝わる獅子舞が、洞爺村無形文化財に指定され、十月四日、洞爺村文化財指定書の交付式が総合センターで行われました。

香川地区の獅子舞は、明治三十四年頃移住した方々が故

郷をしのび、明治三十六年に香川県の財田を源流とする獅子を導入し、五穀豊穡と家内安全を祈って、神社祭典などで奉納されていました。

しかし、昭和二十三年の火災で道具類が焼失し活動が途絶え、過疎化や高齢化で復活の機会がありませんでした。

その後、香川地区の開拓百年となる平成元年までに復活させようと、昭和六十二年洞

爺村香川獅子舞保存会が結成され獅子舞が復活しました。

式では、洞爺村教育委員会蓮井委員長より交付を受けた同保存会の山田侑敬会長が、「身の引き締まる思いです。若い人と力を合わせ、獅子舞を守っていききたい」とあいさつしました。



指定書を持つ香川獅子舞保存会山田代表

彫刻清掃ボランティア 高橋建設社員

十月十五日、高橋建設社員の方々が、村内に設置されたとるつと彫刻公園の彫刻十六基のうち岩屋地区の彫刻を除く十四基の彫刻清掃に汗を流しました。

このボランティアは、開催中の洞爺村国際彫刻ビエンナ

ーレに訪れる観光客も多いことから、また同社の秋期安全大会に合わせ地域貢献事業として実施されました。

清掃は、社員四十人が三班に分かれて実施され、彫刻に水をかけ、ブラシや雑巾でこびりついた汚れを落としました。

史跡めぐりウォークラリー 虻田町と共同開催

十月十五日、秋晴

れに恵まれ、「洞爺村史跡めぐりウォークラリー」(洞爺村教育委員会・健康づくり推進員会・虻田町教育委員会共催)が、虻田町民の皆さんを中心に三十数名が参加し、行われました。このウォークラリーは、洞爺村と虻田町の共同開催で行われ、参加者は村内の6箇所(浮見堂、郷



彫刻清掃に汗を流した高橋建設社員の皆さん

土資料室、洞爺八幡神社、老三樹、役場、頌徳碑)の史跡や文化財をめぐり、史跡にまつわる説明を聞き問題を解きながら、ゆつたりとウォーキングを楽しんでいました。

また、最後に洞爺村国際彫刻ビエンナーレの彫刻を鑑賞して、健康ウォークとともに芸術の秋を堪能していました。



浮見堂からスタートした史跡めぐりウォークラリー

てん菜の収穫 高台地区で始まる

稔りの秋も深まり、洞爺村の畑作の基幹作物であるてん菜の収穫が高台地区で十月下旬から本格的に始まりました。高台地区では、長芋の収穫を残して、豆類や馬鈴薯の収穫もほぼ終わり、十月二十日

頃から、雨天を除いて連日、ビートハーベスターでのてん菜の収穫が行われていました。香川地区の巻進さんの畑でも、今年約六ヘクタールにてん菜を作付けしており、十月二十日、収穫作業が始まっています。

葉を切り落とした後に、ビートハーベスターで収穫したてん菜は、畑の端に積み上げられていました。また、作柄も、去年並みの収量、糖度が期待できそうとのこと。

収穫されたてん菜が積み上げられていく



秋の交通安全教室

洞爺保育所こぐまクラブ

十月十三日、洞爺保育所で秋の交通安全教室が行われました。

こぐまクラブは、幼児と保護者で構成される交通安全ルールを学ぶ集まりで、洞爺保育所では年三回の活動を行っています。

今回は、交通ルールのビデオ鑑賞を行った後、保育所グラウンドで、伊達警察署の協力を得て、プラカード式の信号や、紙製の自動車などを使い子どもたちに、交通ルールの大切さを学んでもらいました。

模擬体験の後は、ご褒美として、参加した子どもたち全員がパトカーに乗せてもらい、はじめての体験に目をキラキラさせていました。

青信号です、手を上げて横断歩道をわたりましょう



芸術の秋

児童生徒作品展

十月二十九日から三十一日までの三日間の日程で、総合センターにおいて児童生徒作品展が行われました。

村内の全小中学校と高校から児童生徒たちの絵画、習字、自由作品（粘土、工作、洋服など、約四百点の力作が展示され、訪れた人たちは、子供たちの数々の作品を鑑賞していました。



ご褒美にパトカーに乗せてもらう



ななみ
川原菜々美ちゃん

☆平成17年3月4日生まれ
☆次女 ☆美沢東

お父さん お母さん
伸二さん めぐみさん

3月生まれなので、春らしい菜の花にちなんで名付けました。

おかあさんからひとこと

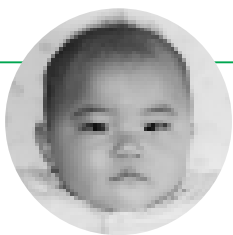


元気で育ってください。

展示された作品たち



作品に足を止め鑑賞する親子



あい
山田葵ちゃん

☆平成17年4月2日生まれ
☆次女 ☆香川

お父さん お母さん
博久さん 貴子さん

葵（あおい）という字が好きだったので、読みを二文字にして名付けました。

おかあさんからひとこと

心も身体も健康で、すくすくのびのびと育って欲しい。

おかあさんの写真は、ご本人の申し出により掲載していません。



小野あるんくん

☆平成17年3月27日生まれ
☆長男 ☆大原

お父さん お母さん
浩一さん 有美子さん

夫と出会ったのがインドなので、「風」という意味の、インドの言葉で名付けました。

おかあさんからひとこと



元気にのびのびと育ってください。



ひかる
吉田光くん

☆平成17年3月8日生まれ
☆長男 ☆5町内

お父さん お母さん
龍哉さん 素子さん

やさしい子になるようにと願いを込めて名付けました。

おかあさんからひとこと



身体も、気持ちも、強い子になってください。強くないとやさしくはなれないので...

役場前庭の 野外彫刻を移設

役場前庭に設置していた廣瀬光氏の彫刻（STONE BOY, KAZE）を水辺の里財田キャンプ場センターハウス前へ移設をしました。

村では、近い将来に現役場庁舎を村所有美術作品等の展示施設に活用するとともに、前庭も含めて整備することを検討しています。

このようなことから、事前に彫刻の移設を作者の承諾を得て行いました。



財田キャンプ場センターハウスに移動した彫刻

成績

よくがんばりました

村民パークゴルフ大会 第8回開催

十月二日、洞爺ふれあいパークゴルフ場で、第8回村民パークゴルフ大会が開かれ、八十四名が参加し、日頃の練習の成果を競うとともに、交流を深め健康づくりに汗を流しました。

なお、成績は次のとおりです。

【団体】一位 第三自治会、
二位 第一自治会、三位 第六自治会



彫刻移動後の役場前

【個人】（小学生）一位 田林

沙也佳、二位 斎藤潮青、三

位 星川真名美

（一般女子）一位 久保田トヨ

子、二位 竹ヶ原登美子、三

位 合田扶美子

（シニア女子）一位 白川寿子、

二位 上森アキエ、三位 平

井ヨシ子

（一般男子）一位 原 昌明

二位 合田静夫、三位 加藤

保、

（シニア男子）一位 佐々木静

雄、二位 岸本盛美、三位

宮武勝重



次々にスタートするパークゴルフ大会参加者

洞爺村子ども会連絡 協議会スポーツ大会 （パークゴルフ）開催

十月二十二日、洞爺ふれあいパークゴルフ場において、小中学生合わせて二十七名が参加して洞子連スポーツ大会（パークゴルフ）が行われました。

他の行事と重なり、参加者は少なくなりましたが、大人の審判十五名の協力を得て、



パークゴルフで競った洞子連スポーツ大会

無事終了しました。

なお、成績は次のとおりです。

【団体】一位 美沢、二位 四町内、三位 成香

【個人】（小学校一〜三年）

一位 坂東春樹、二位 丸田

直弥、三位 前田幸輝

（小学四〜六年）一位 佐藤美

和、二位 田林沙也佳、三位

丸田光貴

（中学生）一位 岩渕大毅、二

位 山本雄輔、三位 佐々木

隆生

誕生

おめでとうございます

村上 太陽くん

父 貴仁さん

母 さゆみさん

10月2日生まれ 次男

成香

宮田 彩音ちゃん

父 敏文さん

母 ひとみさん

10月15日生まれ 三女

五町内